

学校目標「心豊かで 自他ともに大切にし 共に学び合う たくましい子どもの育成」

～ かしこく たくましく ～



梨の花

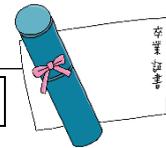
唐津市立大良小学校 学校だより

R 6. 10月17日号

文責 校長 渡辺 謙



学校 HP



最後の「和紙作り」 始まりました！！

大良小学校では、6年生の卒業証書となる「和紙作り」が、およそ20数年にわたって続けられてきました。一度は、孚先生の「引退宣言」によって継続が危ぶまれたこの「和紙作り」ですが、現在のまこと会の皆さんの御尽力によって、今日まで続いています。そして、いよいよ大良小としては、最後の「和紙作り」に3年生から6年生までが臨むこととなりました。



10月16日は、ピープル放送で特集してもらった3年前の「和紙作り」DVDを見て、およその流れをつかんだ後、孚先生からお話をいただきました。また、PTA新聞やPTA組織に「和紙作り」を紹介して下さった橋本さんに、息子さんの唯一無二の卒業証書をもって、手作りの卒業証書への思いを語っていただきました。まこと会代表の橋本さんも、まこと先生の意志を継ごうと頑張ってくれたことをお話しくださいました。このように、たくさんの人の思いのこもった「和紙作り」。残念ながら、卒業証書もらえるのは今の6年生ですが、下学年の子供たちにも思い出に残るものと思い、閉校記念品として活用することを予定しています。詳しくは学校だよりにて、随時お伝えしていきたいと思ひます。



第一回 子ども会議

16日に第一回子ども会議が開催されました。今回の議題は「お別れ会について考えよう」です。三月の閉校式では、記念式典の後、子供たちを中心とした「お別れの会」を実施予定です。そこでで行う全校合唱の曲や、全校での取組について話し合いました。

子供たちからは「思い出に残る」「感謝の気持ちを伝える」といった言葉が、提案理由としてあげられ、閉校に向かっていく自分たちがどのような気持ちでいることが大切なのかをよく考えていることが伝わってきました。

今回決まったことや出された意見を取り入れながら、温かい「お別れの会」が実施できるとよいなと思っています。

秋の深まりとともに、閉校が近づいてきています。年度当初述べさせていただいたように「ありがたいの気持ちをもって」「新しい学校への期待感をもって」となるよう取組を進めていきます。

